



(社)日本トライアスロン連合：JTU

Affiliated to :

シドニーオリンピック日本代表選手団

レポート NO. 8



〒150 0002 東京都渋谷区渋谷 2-9-10 青山キングビル 3F

Tel. 03-5469-5401(代) Fax 03-5469-5403 <http://www.jtu.or.jp>

平成12年9月17日

報道関係各位

(社)日本トライアスロン連合
理事長 荒井憲二
広報委員長 楊 伯恵

**小原工(チームテイケイ)日本人最高位21位。
福井英郎(シャクリー・FILA・GT・グリーンタワー)は、
スイム4位で終えるもランがのびず**

初夏を思わせる気温の中、9月17日10時にシドニー・オペラハウスで男子のトライアスロンがスタートした。快晴に恵まれるも水温は低く、ウェットスーツ着用での競技となった。クレイグ・ウォルトン(オーストラリア)、サイモン・レシング(イギリス)らとともに日本の福井がスイムをトップと10秒差の4位でフィニッシュ。

バイクに入ると福井は、1周目で落車寸前になる場面もあったが、第1集団をキープ。第2集団にいた小原は、バイク中盤で仕掛ける見せ場を作った。その後小原は、集団走行中に他の選手に押され、下り坂カーブで安全フェンスに体とハンドルを当ててしまう。「これで集中が切れてしまいました」と小原はレースを振り返った。約40人の大集団でバイクをフィニッシュ。ランに入ると疲れが出たのか日本人選手は、遅れだした。

結局最終的にレースを制したのは、サイモン・ウイットフィールド(カナダ)で1時間48分24秒のタイム。2位はステファン・ブコビック(ドイツ)、3位にヤン・ルーラ(チェコ)と地元オーストラリアは、メダル獲得にはいたらず、マイルス・スチュワート(オーストラリア)の6位が最高。オーストラリアは、女子も含めメダル独占を狙うも結果として、銀メダルひとつに終わった。

日本人最高位は、小原の1時間50分29秒で21位、福井は36位。「緊張して、スイムの途中で脚がつかまりました」と答えた西内は、遅れを取り戻せず46位だった。

問い合わせ先

- ・場所 CENTRA CAMPERDOWN HOTEL 内 JTU 本部
- ・期間 9月12日(火)~9月19日(火)午前8時から午後8時まで
- ・電話 001-61-2-9550-4847・FAX 001-61-2-9550-3675
- ・広報委員長携帯 001-61-416-264-048

本部開催期間中のお問い合わせはこちらにお願いいたします。